

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第28週の発生動向

トピックス

ヘルパンギーナ (定点把握対象) : 第28週(7/11~7/17)の県内の定点あたり報告数は6.3で、4年ぶりに流行警報開始レベル(6.0)を超えました。流行警報開始レベル(6.0)を超えた週が、2011、2012年と比較して2週間遅くなっています。詳細後述。

全数報告の感染症 (28週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：つつが虫病1例。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、水痘(入院例)1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	咳、呼吸困難
		都城	70歳代	女	疑似症患者	咳、発熱
4類	つつが虫病	小林	60歳代	女	—	刺し口
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、咳、ワクチン接種歴無し
	水痘(入院例)	宮崎市	0~4歳	男	検査診断例	発疹、ワクチン接種歴無し

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は877人(定点当たり27.5)で、前週比104%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナと流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑と流行性角結膜炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【ヘルパンギーナ】

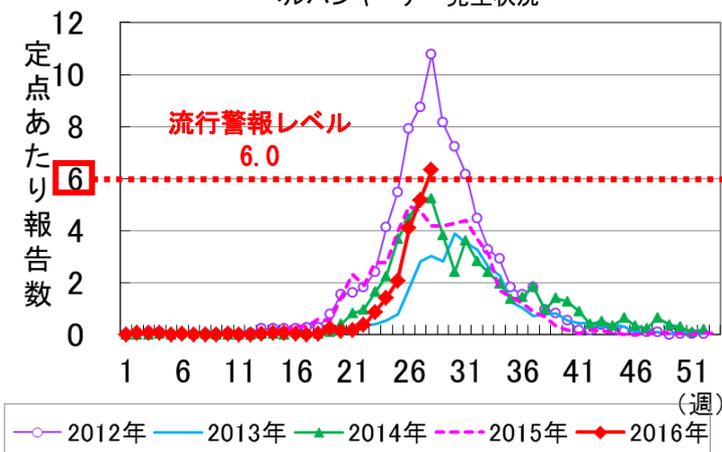
・報告数は228人(6.3)で、前週比123%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(6.6)の約1.0倍であった。日南(16.7)、中央(14.0)、宮崎市(8.2)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。

【流行性耳下腺炎】

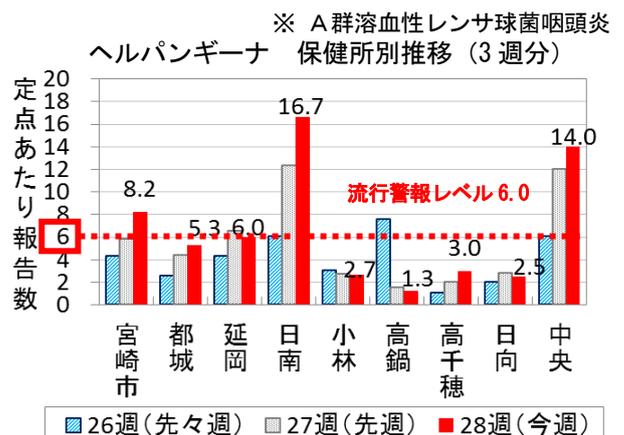
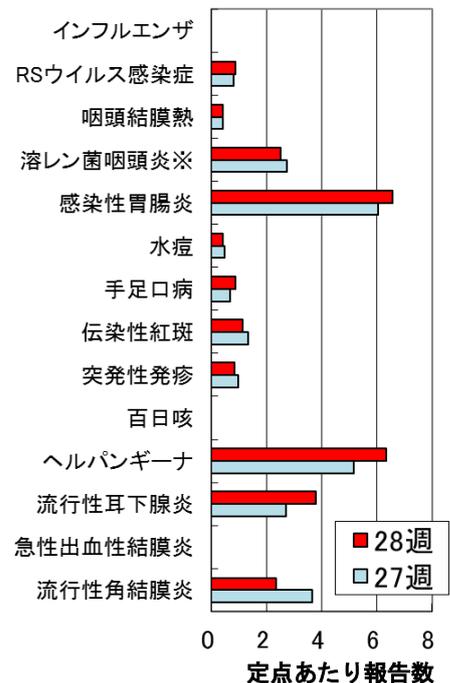
・報告数は136人(3.8)で、前週比140%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.83)の約4.6倍であった。日向(15.8)、高千穂(8.0)、小林(7.0)保健所からの報告が多く、年齢別では3~5歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

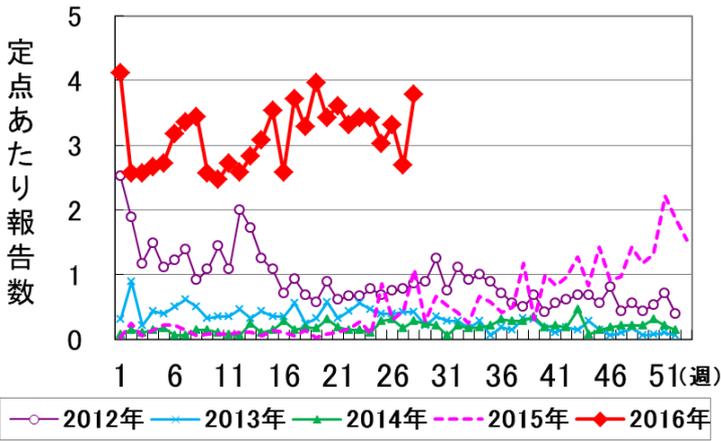
ヘルパンギーナ 発生状況



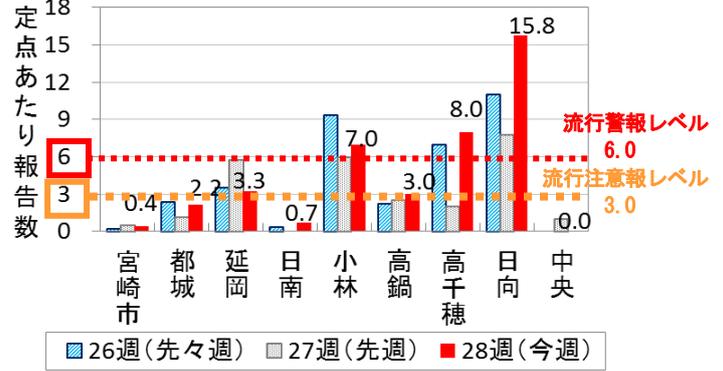
《前週との比較》



流行性耳下腺炎 発生状況



流行性耳下腺炎 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：都城保健所から1例報告があった。0～4歳であった。
- マイコプラズマ肺炎：宮崎市、延岡、高鍋(各3例)保健所から報告があった。0～4歳が2例、5～9歳が5例、10歳代が2例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	ヘルパンギーナ(8.2)
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(6.0)、流行性耳下腺炎(3.3)
日南	ヘルパンギーナ(16.7)
小林	咽頭結膜熱(3.0)伝染性紅斑(3.7)、流行性耳下腺炎(7.0)
高鍋	伝染性紅斑(2.5)、流行性耳下腺炎(3.0)
高千穂	流行性耳下腺炎(8.0)
日向	流行性耳下腺炎(15.8)
中央	ヘルパンギーナ(14.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成28年7月19日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Saintpaul (O4:e,h:1,2)	50歳代	女	2016.7.8	—	便	2016.7.15

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
パレコウイルス3型	0～4歳	女	2016.05.24	エンテロウイルス感染症疑い、舌炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.07.13
パレコウイルス3型	0～4歳	女	2016.05.28	不明の発疹症、38.2℃、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.07.13
パレコウイルス3型	0～4歳	男	2016.05.27	ウイルス性敗血症、38.0℃、ショック症状(低血圧、循環不全)、髄膜炎	便 咽頭ぬぐい液	2016.07.13
パレコウイルス3型	0～4歳	女	2016.06.02	不明の発疹症、38.1℃、発疹、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.07.13
パレコウイルス3型 ノロウイルスGⅡ型(再掲)	0～4歳	男	2016.05.23	ウイルス性腸炎、37.8℃、胃腸炎(下痢)	便	2016.07.17 2016.05.26
パレコウイルス3型	0～4歳	男	2016.06.02	不明の発疹症、37.5℃、淡紅斑	咽頭ぬぐい液	2016.07.17
パレコウイルス3型	20歳代	女	2016.07.15	ウイルス性筋炎、39.0℃、口内炎、上気道炎(咽頭炎、扁桃炎)	咽頭ぬぐい液 血清	2016.07.17
水痘・帯状疱疹ウイルス	0～4歳	男	2016.07.12	急性脳症、40.0℃、熱性けいれん、下気道炎(肺炎)、けいれん重積	咽頭ぬぐい液	2016.07.17
エコーウイルス18型	10歳代	女	2016.06.21	無菌性髄膜炎、39.0℃、頭痛、髄膜炎(頸部硬直)	髄液 咽頭ぬぐい液	2016.07.08 2016.07.19
エコーウイルス25型	0～4歳	女	2016.07.03	気性上気道炎、39.0℃、無呼吸	便 咽頭ぬぐい液	2016.07.19

○乳幼児6名、成人1名からからパレコウイルス3型が検出された。パレコウイルス3型は軽度の消化器、呼吸器症状だけでなく新生児、乳幼児では敗血症など重篤な症状を、成人では筋痛症を起こすことがある。当所では今年に入ってパレコウイルス3型が11件検出され、増加傾向にあることから、今後の動向に注意していく必要がある。

○小児1名からエコーウイルス18型、乳児1名からエコーウイルス25型が検出された。エコーウイルス18型はこれまで発熱、発疹症の患者から検出されることが多かったが、今回、無菌性髄膜炎の起因ウイルスとして検出された。18型に限らず、エコーウイルスは夏期に髄膜炎の流行を起こすことがあることから、今後の動向に注意する必要がある。

○幼児1名から水痘・帯状疱疹ウイルスが検出された。

🇯🇵 全国 2016 年第 27 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第27週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	332 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	110 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	オウム病	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	4 例	日本紅斑熱	9 例	レジオネラ症	49 例
5類感染症	アメーバ赤痢	17 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	20 例	ジアルジア症	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例	水痘（入院例）	4 例
	梅毒	56 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例
	風しん	3 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。減少した主な疾患は感染性胃腸炎と咽頭結膜熱であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 3,838 人(1.2)で前週比 114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.57)の約 2.1 倍であった。佐賀県(2.8)、宮崎県(2.7)、山形県(2.4)からの報告が多く、年齢別では 4~5 歳が全体の約 3 割を占めた。

流行性角結膜炎の報告数は 586 人(0.85)で前週比 113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.68)の約 1.3 倍であった。宮崎県(3.7)、神奈川県(2.9)、長野県、鹿児島県(1.9)からの報告が多く、年齢別では 10 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第28週(7月11日～7月17日)

疾病名		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	29	31	13	3	1		1	13			
	定点あたり	0.81	0.86	1.30	0.50	0.25	0.00	0.33	3.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	15			4	1	9	1			
	定点あたり	0.42	0.42	0.00	0.00	1.00	0.33	3.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	99	90	24	11	18	7	5	9	2	10	4
	定点あたり	2.75	2.50	2.40	1.83	4.50	2.33	1.67	2.25	2.00	2.50	4.00
感染性胃腸炎	報告数	217	236	52	41	9	27	53	26	7	5	16
	定点あたり	6.03	6.56	5.20	6.83	2.25	9.00	17.67	6.50	7.00	1.25	16.00
水痘	報告数	17	15	4	2	7	1		1			
	定点あたり	0.47	0.42	0.40	0.33	1.75	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	24	31	8		3	12	1			6	1
	定点あたり	0.67	0.86	0.80	0.00	0.75	4.00	0.33	0.00	0.00	1.50	1.00
伝染性紅斑	報告数	48	41	5	3	6	1	11	10	1	4	
	定点あたり	1.33	1.14	0.50	0.50	1.50	0.33	3.67	2.50	1.00	1.00	0.00
突発性発しん	報告数	35	30	4	8	5	3	1	4	1	3	1
	定点あたり	0.97	0.83	0.40	1.33	1.25	1.00	0.33	1.00	1.00	0.75	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	186	228	82	32	24	50	8	5	3	10	14
	定点あたり	5.17	6.33	8.20	5.33	6.00	16.67	2.67	1.25	3.00	2.50	14.00
流行性耳下腺炎	報告数	97	136	4	13	13	2	21	12	8	63	
	定点あたり	2.69	3.78	0.40	2.17	3.25	0.67	7.00	3.00	8.00	15.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	22	14	10	4							
	定点あたり	3.67	2.33	3.33	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	9	9	3		3			3			
	定点あたり	1.29	1.29	3.00	0.00	3.00	0.00	0.00	3.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～28週)

2類感染症	結核	112例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	つつが虫病	6例(1)	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	急性脳炎	8例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例(1)
	水痘(入院例)	1例(1)	梅毒	5例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	1例				

()内は今週届出分、再掲